1. 平成30年度 事業結果概要

琵琶湖漁業の振興を図るため、漁業基盤であるニゴロブナ、ホンモロコ、アユといった重要水 産資源について、琵琶湖栽培漁業センター (山田筏種苗生産施設を含む)、琵琶湖周辺の水田およ び人工河川を活用して種苗生産、中間育成、放流を実施し、水産資源の増殖と漁業経営の安定に 努めた。

特に、平成28年度シーズンのアユの漁獲量については、近年にない不漁であったため、平成30年度においても資源に影響を与える恐れがあることが危惧された。このため、人工河川管理運用事業において、前、後期放流用の養成親魚として、当初計画の15トンに、緊急資源対策で3トンを加えて計18トンを安曇川・姉川両人工河川へ放流した。

(1) ニゴロブナ増殖事業

ニゴロブナ資源の回復を図るため、以下を行った。

- 1. 卵、ふ化仔魚(ふ化仔魚換算値で19,321 千尾)を5月から6月にかけて琵琶湖周辺の水田593 反に放養し、約1ヶ月後の中干し時に平均全長23.1mmに成長した稚魚9,661千尾を琵琶湖へ 流下させた。(国交付金、県補助事業)
- 2. 県の実施する赤野井湾の在来魚復活事業のため、ふ化仔魚 2,018 千尾を 5 月に赤野井湾周辺の水田 58 反に放流した。滋賀県水産試験場の調査では約 1 か月後の中干し時に 485 千尾が流下した。(県受託事業)
- 3. 体重 17.7gの大型種苗 1,065 千尾を栽培漁業センターおよび草津市北山田地先筏施設で生産し、10 月から 12 月にかけて琵琶湖全域に放流した。(国交付金、県補助事業)
- 4. 体重 20.5g の大型種苗 78 千尾を滋賀県漁業協同組合連合会より購入し、10 月に琵琶湖北湖に 放流した。(独自事業、一部寄付金充当)
- 5. 放流の効果を把握するため、種苗の一部に ALC 標識を付け放流した。春・冬季に漁獲魚の標識調査を行った。(国交付金、県補助事業)

特に、北湖において冬季漁獲物標識調査による放流魚の混獲率は39.3%(前年は48.9%)と推定された。漁獲魚は3才~5才が主であった。

6. 各種団体の放流用種苗 2,066 千尾を生産した。(独自事業)

	実績	計画
1. 水田放流(2 cm種苗流下数)	23.1mm 9,661 千尾	20.0mm 8,000千尾
2. 赤野井周辺水田放流(ふ化仔魚数)	5.0mm 2,018 千尾	5.0mm 2,000千尾
3. 大型種苗生産放流	17.6g 1,065千尾	20.0g 900千尾
4. 大型種苗購入放流	20.5g 78千尾	20.0g 75千尾
5. 標識調査(混獲率(調査尾数))		
春季南湖漁獲物	76.6%(111尾)	
冬季北湖漁獲物	39.3%(626尾)	
6. 放流用種苗の生産	2,066 千尾	2,000千尾

(2) ホンモロコ増殖事業

ホンモロコ資源の回復を図るため、以下を行った。

- 1. 卵、ふ化仔魚(ふ化仔魚換算値で20,025 千尾)を5月から6月にかけて琵琶湖周辺の水田689 反に放養し、約1ヶ月後の中干し時に平均全長21.9mmに成長した稚魚6,208 千尾を琵琶湖へ 流下させた。(県補助事業)
- 2. 県の実施する赤野井湾の在来魚復活事業のため、ふ化仔魚 2,028 千尾を 5 月に赤野井湾周辺の 水田 67 反に放流した。滋賀県水産試験場の調査では約 1 か月後の中干し時に 302 千尾が流下 した。(県受託事業)
- 3. 平均全長 21.5mmの稚魚 1,110 千尾を草津市北山田地先筏施設で生産し、6 月に南湖に放流した。(県受託事業)

	実績	計画	
1. 水田放流(2 cm種苗流下数)	21.9mm 6,208千尾	20.0mm 8,000千尾	
2. 赤野井周辺水田放流(ふ化仔魚数)	5.0mm 2,028千尾	5.0mm 2,000千尾	
3. 南湖種苗放流	21.5mm 1,110千尾	20.0mm 1,000千尾	

(3) 人工河川管理運用事業 (県受託事業)

アユ資源の維持、培養を図るため、以下を行った。

- 1. 養成親魚18トンを8月末から9月中旬にかけて安曇川・姉川両人工河川に放流した。
- 2. 姉川において天然親魚 0.2 トンを特別採捕し、9 月中旬から下旬にかけて姉川人工河川、近隣の常水河川に放流した。

	実績	計画
1. 養成親魚放流	18トン	18トン
2. 天然親魚放流	0.2トン	4トン

H30 年度の流下ふ化仔魚尾数 19.6 億尾(前年比(緊急対策実施年)51%)

特に平成 30 年度は、9月4日に県内を通過した台風 21 号の影響によって、安曇川人工河川の低層水(冷水)が取水不良となり、アユの産卵ふ化に適した水温帯(18~20℃)に調節することができなくなった。このことが大きく影響し、人工河川からの流下ふ化仔魚数が前年比(緊急対策実施年)の 51%と大きく減少した。

(4) 湖づくり活動支援事業

固有在来魚類の資源回復を図り、多様な琵琶湖の生態系を保全するため、以下の事業を行った。

ゲンゴロウブナ(新規事業)

水田を活用した効率的な種苗生産放流により、ゲンゴロウブナ資源を回復させることで、多種多様なプランクトンによる安定した魚介類の餌環境、生息環境を確保することを目的として新規事業を行った。

1. 卵、ふ化仔魚(ふ化仔魚換算値で2,428千尾)を5月から6月にかけて早崎内湖(長浜市)及 び西の湖の周辺水田の計61反に放養し、約1ヶ月後の中干し時に平均全長22.4mmに成長 した稚魚1,312千尾を琵琶湖へ流下させた。(県受託事業)

	実績	計画	
1. 水田放流(2 cm種苗流下数)	22.4mm 1,312千尾	20.0mm 1,000千尾	

ワタカ

- 1. ワタカ種苗を栽培漁業センターで生産し、3月に平均全長35.5mm、17千尾を主に南湖に放流した。(独自事業(寄付金充当))
- 2. ワタカ種苗の放流の効果を把握するため、漁獲魚の標識調査を行った。(受託事業)
- 3. 水産多面的機能発揮対策事業を行う活動組織等の放流用種苗 206 千尾を生産した。(独自事業)

	実績	計画
1. ワタカ種苗放流	35.5 mm 17千尾	50.0 mm 15 千尾
2. 標識調査(混獲率(調査尾数))	88.4%(311尾)	
3. 放流用種苗の生産	206千尾	220 千尾

(5) セタシジミ増殖実証事業(国、県補助事業)

セタシジミ資源回復を図る技術開発を行うため、実証事業を行った。

- 1. セタシジミの親貝 600kg を琵琶湖で採捕し、肥満度を上げるため富栄養な西の湖で垂下養成した。垂下期間中(平成 30 年 2 月から平成 30 年 4 月末)の肥満度は約 2.2%から約 3.5%に増加した。
- 2. セタシジミの肥満度、稚貝の生息状況などを滋賀県水産試験場と共同で調査した。平成30年5月に西の湖より親貝放流試験区(近江八幡及び彦根市松原両地先)へ肥育親貝410kgを再放流し産卵させた。その結果、両親貝放流試験区とも、産卵ふ化した稚貝は放流場所から離れた場所でも高密度で確認された。また、平成28年からの小型桁網による成貝調査では、広範囲に小型貝の増加を確認した。

今後の課題として、肥育期間中の採卵率が低かった平成29年は、琵琶湖での親貝採卵時の 肥満度が例年より極端に低く、採捕時の栄養状態がその後の生残率に影響を与えることが示唆 され、事業展開をはかる上で、親貝の採捕時に肥満度が低い場合には、生残率を向上させるた めに、垂下前に養生するなどの措置を検討する必要があると考えられた。

	実績	計画
1. セタシジミ親貝肥育飼育	600kg	600kg
2. セタシジミ放流効果調査	肥育、産卵、稚貝調査	肥育、産卵、稚貝調査

(6) 産卵繁殖場保全事業

滋賀県が整備した産卵繁殖場および自然のままの産卵繁殖場を保全管理することで、琵琶湖の生態系の維持、保全を図るため、以下を行った。

- 1. 沿岸漁業整備開発事業により設置された増殖場(20 箇所) および南湖の砂地造成漁場(1 箇所) について、施設の機能維持と湖上事故防止のため、施設の破損や集魚状況等の確認、標識灯太陽電池パネルの清掃、雑木の伐採等を行った。(県受託事業)
- 2. 水産業および漁村の有する多面的機能の発揮に資する活動を推進することを目的として設置された協議会の運営経費の管理を行うとともに活動組織への交付金を交付した。(受託事業)
- 3. 琵琶湖においてニゴロブナ、ホンモロコの再生産を促し、資源の維持、増殖を図るため、長浜市、彦根市、東近江市、近江八幡市、草津市、野洲市、守山市および高島市の計8箇所の魚のゆりかご水田水域において親魚の遡上産卵、仔稚魚の生育状況調査を行った。(独自事業)

	実績	計画
1. 沿整増殖場等管理点検	21 箇所	21 箇所
2. 水産多面的機能発揮対策協議会	会計事務の受託	会計事務の受託
3. 産卵繁殖場の調査	8 箇所	6 箇所

(7) 水産加工業振興対策事業(独自事業)

加工業の振興発展と経営の安定化に資するため、水産加工業者が原材料の安定的な確保、新製品の開発、普及宣伝活動等を行うための活性化資金を貸付けた。

1.「水産加工業振興対策資産」2億円を滋賀県水産加工業協同組合に貸し付けた。 (貸付期間 平成29年4月~令和2年9月まで)

	実績	計画
1. 水産加工業協同組合資金貸付額 (利率)	2億円(利率0.025%)	2 億円(利率 0.025%)

(8) 情報提供事業(独自事業)

協会の活動を広く一般に周知し、漁業者に栽培漁業の普及啓発を行うため、以下を行った。

- 1. 「協会ニュース」を発行し、放流事業結果を公開した。
- 2. インターネット上のホームページにおいて、放流事業結果、事業計画、決算内容等を公開した。 http://www.ex.biwa.ne.jp/fishlake

	実績	計画
1. 協会ニュース発行	150 部	150 部
2. ホームページ	随時更新	随時更新

平成30年度 事業結果の附属明細

1 ニゴロブナ

表 1 ニゴロブナの放流結果

放流群	放流月	放流場所	放流角	放流魚		Į
			尾数(千尾)	体型	尾数(千尾)	体型
水田放流						
	H30/5~6月	琵琶湖一円	9,661	23.1mm	2,803	23.1mm
	H30/5月	赤野井湾周辺	$2,018^{*1}$	5.0mm	2, 018*1	5.0mm
2 cm種苗	(飼育)					
	H30/6~7月	南湖	514.7		0	
大型種苗						
	H30/10~12月	南湖	380.0	18.3 g	95.0	16.4 g
		北湖	684.6	17.5 g	155.0	16.5 g
	H30/10月 (購入)	北湖	77.8	20.5 g		
	小計		1142.4		250.0	

*1; ふ化仔魚数。2cmサイズの流下尾数は372千尾(滋賀県水産試験場調べ)



図1 ニゴロブナの年度別放流尾数(万尾)及び放流魚混獲率(%)の推移

2 ホンモロコ

表2 ホンモロコの放流結果

放流群	放流月	放流場所	放流魚	À		標識魚	Į
			尾数 (千尾)	体型	尾数	(千尾)	体型
水田放流	Н30/5∼6月	琵琶湖一円	6, 208	21.9mm		2,048	21.9mm
	H30/5月	赤野井湾周辺	2, 028*1	5.0mm		2, 028*1	5.0mm
2 cm種苗	(飼育)						
	H30/6~7月	南湖	1, 110	21.5mm		1, 110	21.5mm

^{*1;} ふ化仔魚数。2cmサイズの流下尾数は438千尾(滋賀県水産試験場調べ)



型2 ホンモロコの年度別放流尾数(万尾)の推移

3 アユ

表3 養成アユ親魚放流結果(安曇川人工河川)

放流日	重量 (kg)	尾数 (千尾)	体重 (g)	雌比(%)	放流区画
8月27,28日	3,400	68. 7	49.5	46.2	4,5区
8月28,29日	3,400	111.8	30.4	53.7	2, 3区
8月29,30日	1,600	36. 3	44.1	55.3	1区
9月8,10日	1,600	55. 1	29.0	53.1	6区
9月9日	2,300	45.3	50.8	49.2	7,10区
9月11,12日	2,300	63. 2	36.4	49.7	8,10区
9月13,14日	1,600	29. 1	55.0	54.5	7,8,9区
合計	16, 200	409.5	39. 6	51.4	

表4 養成及び天然(特採)アユ親魚放流結果(姉川人工河川)

放流日	重量 (kg)	尾数(千尾)	体重 (g)	雌比(%) 放流区	画 備考
9月17日 9月21,23日	1,800 30	65. 0 5. 9	27.7 5.1		区 養成区 天然

流下ふ化仔魚数:約14.8億尾

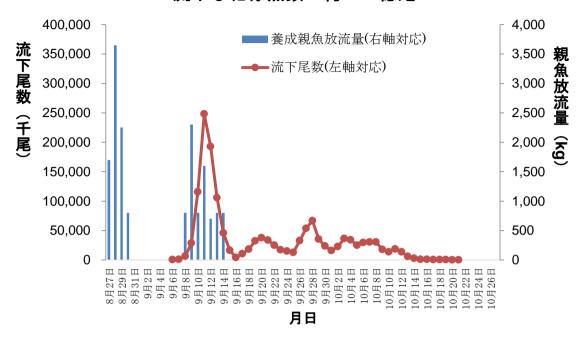


図3 安曇川人工河川 養成アユ親魚放流量と流下仔魚数の経日推移

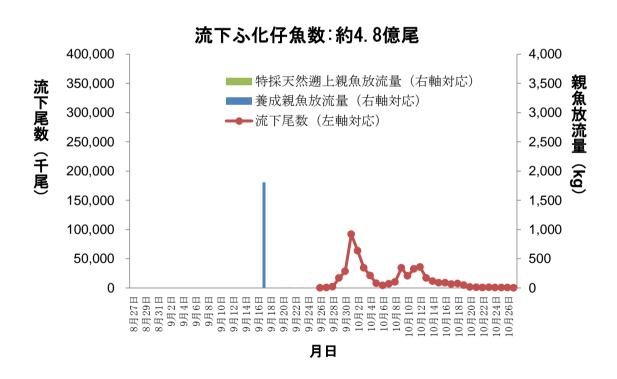
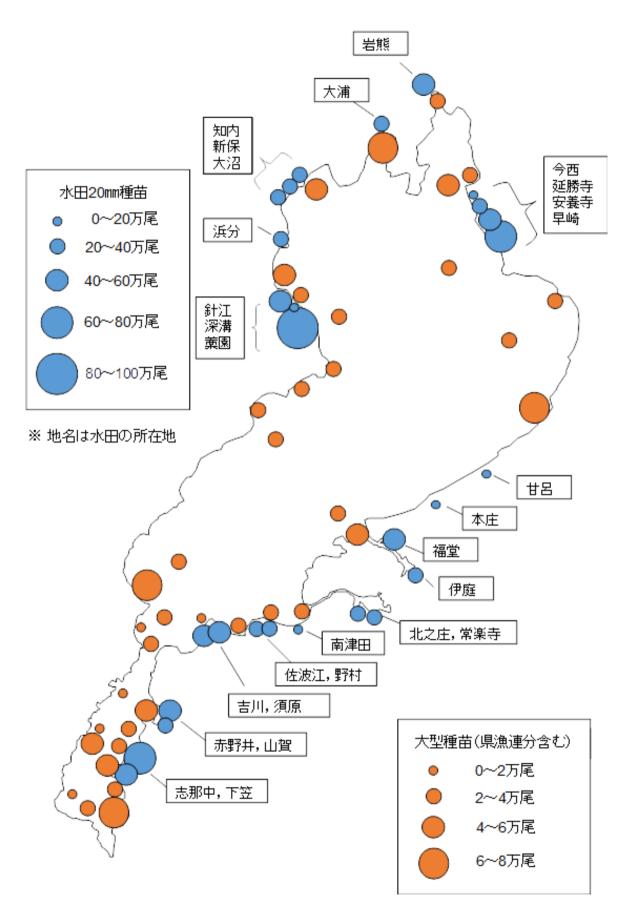
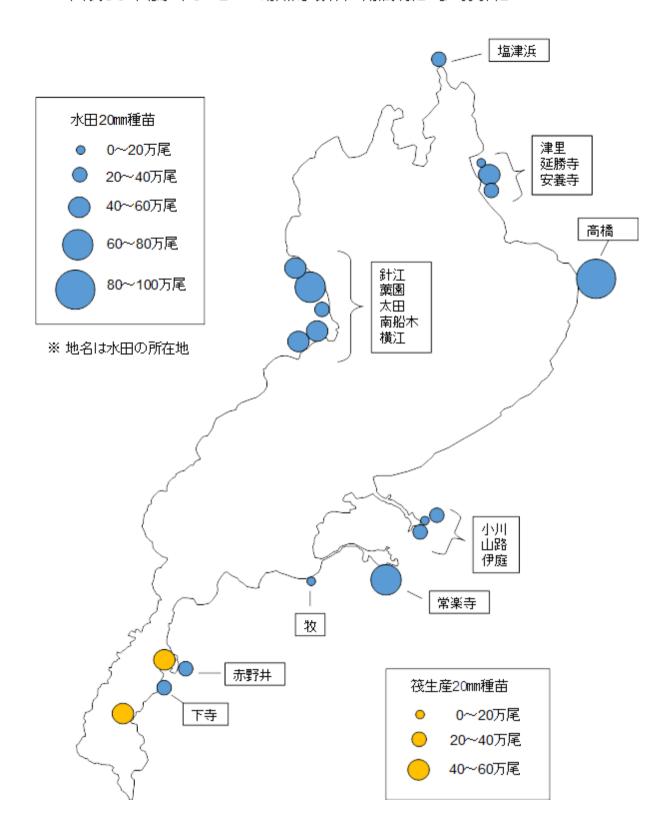


図 4 姉川人工河川 天然特採アユ親魚放流量と流下仔魚数の経日推移

平成30年度 ニゴロブナ放流場所 附属明細 参考資料1



平成30年度 ホンモロコ放流場所 附属明細 参考資料2



貸借対照表

平成 31年3 月31日現在

(単価:円)

			(単価:円)
科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,639,037	4, 567, 889	-1, 928, 852
未収金	5, 320, 256	5, 644, 100	-323, 844
流動資産合計	7, 959, 293	10, 211, 989	-2, 252, 696
2. 固定資産		, ,	
(1) 基本財産			
投資有価証券	11,000,000	11, 000, 000	C
基本財産合計	11,000,000	11, 000, 000	0
(2) 特定資産	11,000,000	11, 000, 000	
温水魚資源対策積立資産	844, 775, 879	867, 525, 879	-22, 750, 000
水産加工業振興対策積立資産	200, 000, 000	200, 000, 000	22, 130, 000
		10, 000, 000	0
	10, 000, 000		0.750.710
l	19, 253, 735	29, 004, 445	-9, 750, 710
特定資産合計	1, 074, 029, 614	1, 106, 530, 324	-32, 500, 710
(3) その他固定資産	0.40, 0.00, 0.75	0.40, 000, 055	
建物 物 //	243, 986, 375	243, 986, 375	C
構築物	321, 936, 405	321, 936, 405	C
車 両 運 搬 具	2, 720, 464	3, 090, 464	-370, 000
什 器 備 品	103, 274, 478	101, 408, 670	1, 865, 808
船舶	7, 700, 000	7, 700, 000	C
減 価 償 却 累 計 額	-561, 620, 658	-549, 992, 079	-11, 628, 579
電 話 加 入 権	257, 227	257, 227	C
その他固定資産合計	118, 254, 291	128, 387, 062	-10, 132, 771
固定資産合計	1, 203, 283, 905	1, 245, 917, 386	-42, 633, 481
資産合計	1, 211, 243, 198	1, 256, 129, 375	-44, 886, 177
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	4, 293, 097	7, 551, 446	-3, 258, 349
預 り 金	651,000	641, 738	9, 262
流動負債合計	4, 944, 097	8, 193, 184	-3, 249, 087
2. 固定負債			
退職給付引当金	19, 253, 735	29, 004, 445	-9, 750, 710
固定負債合計	19, 253, 735	29, 004, 445	-9, 750, 710
負債合計	24, 197, 832	37, 197, 629	-12, 999, 797
Ⅲ 正味財産の部	, == , , = 3 =	, , •	, ,
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	1, 065, 775, 879	1, 088, 525, 879	-22, 750, 000
(うち基本財産への充当額)	11, 000, 000	11, 000, 000	22, 100, 000
(うち特定資産への充当額)	1, 054, 775, 879	1, 077, 525, 879	-22, 750, 000
2. 一般正味財産	1,001,110,019	1, 011, 020, 019	22, 100, 000
	191 960 497	190 40E 067	_0 196 900
一般正味財産合計	121, 269, 487	130, 405, 867	-9, 136, 380
(うち基本財産への充当額)	0	0	(
(うち特定資産への充当額)	0	0	(
正味財産合計	1, 187, 045, 366	1, 218, 931, 746	-31, 886, 380
負債及び正味財産合計	1, 211, 243, 198	1, 256, 129, 375	-44, 886, 177

正味財産増減計算書内訳表

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日まで

(単位:円) 目 公益目的会計 法人会計 合 計 一般正味財産増減の部 1. 経営増減の部 (1) 経常収益 基 本 財 運 用 益 24, 200] [48, 400] 産 24, 200] [基 本 財 産 受 取 利 息 24, 200 24, 200 48, 400 定 資 産 運 用 益 5, 145, 560] [3, 561, 216 8, 706, 776 特 利 息 3, 561, 216 8,706,776 定 産 取 5, 145, 560 助 32, 866, 656] 取 補 32, 866, 656 0] [ニゴロブナ栽培漁業推進事業費補助金 (県) 22, 506, 000 22, 506, 000 ホンモロコ 資源回復対策事業費補助金(県) 7, 938, 000 7,938,000 二枚貝資源緊急增殖対策事業補 助 金(国) 1, 211, 328 1, 211, 328 セタシジミ親貝放流技術開発事業費補助金(県) 1, 211, 328 1, 211, 328 62, 955, 760] [0] [取 託 62, 955, 760 受 赤野井湾ニゴロブナ・ホンモロコ種苗放流事業受託費 3, 190, 000 3, 190, 000 南湖ホンモロコ 標識種苗放流事業 受 託 費 3,680,000 3,680,000 人工河川管理運用事業受託費 50, 430, 000 50, 430, 000 ゲンゴロウブナ種苗生産放流事業 受託 2,530,000 2,530,000 種苗放流に係るモニタリング調査業務受託費 200,000 200,000 沿整 增 殖 場 管 理 点 検 事 業 受 託 費 2,075,760 2,075,760 水産多面的機能発揮協議会 運営事業 受託費 850,000 850,000 受 取 負 担 氽 3,000,000] [0] 3,000,000] 受 取 分 担 金 3,000,000 3,000,000 受 付 取 寄 金 23, 950, 000] [23, 950, 000 0] [] 受 取 寄 付 金 1, 200, 000 1,200,000 受 振 額 取 寄 付 金 22, 750, 000 22, 750, 000 収 益 4, 860, 583 Γ 0] 4, 860, 583 受 取 利 息 74 74 収 雑 益 4,860,509 4,860,509 経常収益計 132, 802, 759 3, 585, 416 136, 388, 175 (2) 経常費用 事 費 141, 939, 138 0] 141, 939, 138 員 報 役 酬 3, 525, 120 3, 525, 120 料 手 当 給 30, 091, 759 30, 091, 759 臨 時 雇 賃 金 4, 497, 698 4, 497, 698 福 利 厚 生 費 6, 911, 716 6,911,716 旅 費 交 通 費 382, 171 382, 171 信 通 渾 搬 費 357,850 357,850 原 材 料 費 42, 354, 989 42, 354, 989 消 耗 品 費 5, 509, 944 5, 509, 944 秋 稚 魚 購 入 費 3,000,000 3,000,000 修 繕 費 2,509,423 2,509,423 刷 印 製 本 費 0 0 燃 料 費 1, 168, 637 1, 168, 637 光 熱 水 料 費 10, 493, 021 10, 493, 021 賃 借 料 4, 198, 960 4, 198, 960 保 険 料 519,807 519,807 租 税 公 課 149,650 149,650 支 払 負 担 金 1, 452, 181 1, 452, 181 手 数 料 53, 496 53, 496 委 託 費 9,701,086 9,701,086 衛 生 費 39, 370 39, 370 費 消 税 1, 296, 426 1, 296, 426 退 職 付 費 用 給 1, 791, 955 1, 791, 955 減 費 価 償 刦 11, 933, 879 11, 933, 879

	科	目			公益目的会計	法人会計	合 計
管		理		費	[0]	[3, 585, 416]	[3, 585, 416]
役	員		報	西州		1, 036, 280	1, 036, 280
給	料		手	当		1, 193, 680	1, 193, 680
福	利	厚	生	費		365, 775	365, 775
会		議		費		11,060	11,060
交		際		費		0	0
旅	費	交	通	費		149, 991	149, 991
通	信	運	搬	費		20, 468	20, 468
消	耗			費		11, 434	11, 434
修		繕		費		0	0
印	刷	製	本	費		0	0
燃		料		費		310	310
光	熱	水	料	費		12, 487	12, 487
保		険		料		788	788
租	税		公	課		2, 250	2, 250
支	払	負	担	金		207, 537	207, 537
手		数		料		3, 370	3, 370
嘱		託		料		413, 640	413, 640
委		託		費		2, 090	2,090
衛		生		費		2, 602	2,602
雑				費		12, 290	12, 290
退	職	合 作	. 費	用		74, 665	74, 665
減	価	償	却	費		64, 699	64, 699
経常	費用計				141, 939, 138	3, 585, 416	145, 524, 554
評	価損益等調整前	当期経常	増減額		-9, 136, 379	0	-9, 136, 379
評	価損益等計				0		
	期経常増減額				-9, 136, 379	0	-9, 136, 379
2. 経常外							
(1) 経常:							
	外収益計				0	0	0
(2) 経常							
固	定資産除却損				1	0	1
					1	0	1
	外費用計				1	0	1
	期経常外増減額				-1	0	-1
	期一般正味財産				-9, 136, 380	0	-9, 136, 380
	般正味財産期首				130, 405, 867	0	130, 405, 867
	般正味財産期末	残高			121, 269, 487	0	121, 269, 487
	財産増減の部	1					
	般正味財産への				-22, 750, 000		-22, 750, 000
	期指定正味財産				-22, 750, 000		-22, 750, 000
	定正味財産期首				1, 088, 525, 879	0	1, 088, 525, 879
	定正味財産期末	残高			1, 065, 775, 879	0	1, 065, 775, 879
Ⅲ 正味財産	期末残高				1, 187, 045, 366	0	1, 187, 045, 366

(単位:円)

貸借対	対照表科目	場所·物量等		使用目的等	金額
(流動資産)	現金 普通預金		手元保管 滋賀銀行下笠代理店 関西アーバン銀行草津西支店		30,438 2,237,375 371,224
	未収金	滋賀県補助金等	滋賀県農政水産部水産課	〈現金・預金計〉 公益目的事業(補助金等)の未収金 (8件) 〈未収金計〉	2,639,037 5,320,256 5,320,256
431454	A =1			(30-10-117)	
流動資産 (固定資産) 基本財産	投資有価証券	投資有価証券 滋賀県平成27年度第1回公募公債 滋賀県平成28年度第2回公募公債	野村證券(株)大津支店 野村證券(株)大津支店	基本財産の運用益は公益目的事業費 および管理費に使用している。 50%を公益目的事業費、50%を管理費 に充てている。	7,959,293 10,000,000 1,000,000
				〈基本財産計〉	11,000,000
特定資産	温水魚資源対策積立資産	社債 地方債	SMBC 日興証券(株)京都支店	温水魚資源対策積立資産は公益目的 保有財産として満期保有目的で保有 し、運用益は公益目的事業費および	844,775,879 (199,940,000) (99,955,000)
		社債 地方債	男村證券(株)大津支店 "	管理費に使用している。	(150,000,000) (80,000,000)
		地方債	" 滋賀銀行下笠代理店		(100,000,000)
		社債	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)		(50,000,000)
		大口定期 大口定期	京都支店 滋賀銀行下笠代理店 関西アーバン銀行草津西支店		(50,000,000) (100,000,000)
		決済用普通預金 決済用普通預金	滋賀銀行下笠代理店 関西アーバン銀行草津西支店		(14,661,906) (218,973)
	水産加工業振興対策積立資産	水産加工業活性化資金 貸付金	滋賀県水産加工業協同組合	水産加工振興対策積立資産は公益目 的保有財産として保有し、水産加工業 振興対策事業の資金として使用してい る。	200,000,000 (200,000,000)
	鮎資源対策 積立資産	地方債	野村證券(株)大津支店	鮎資源対策積立資産は公益目的保有 財産として満期保有目的で保有し、運 用益は公益目的事業費に使用してい る。	10,000,000 (10,000,000)
	退職給付引当資産	普通預金 大口定期 社債	滋賀銀行下笠代理店 " SMBC 日興証券(株)京都支店	退職給付引当資産は職員の退職給与 金の財源として積み立てている。 〈特定資産計〉	19,253,735 (2,253,735) (7,000,000) (10,000,000) 1,074,029,614
その他固定資産	建物	栽培漁業センター・管理棟	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産で、公益目的事業 および管理業務に使用している。 使用割合により、97%を公益目的事 業、3%を管理業務としている。	243,986,375 (88,750,000)
		栽培漁業センター・生産棟・揚水機場	n	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	(153,000,000)
		栽培漁業センター・車庫・倉庫	II .	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	(2,236,375)
	減価償却累計額				-166,250,905
	構築物	栽培漁業センター・取水施設	IJ	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	321,936,405 (21,000,000)
		栽培漁業センター・養成池	n	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	(156,879,705)
		栽培漁業センター・給排水施設等	n	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	(58,646,300)
	減価償却累計額	筏 29基	草津市北山田町地先	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	(85,410,400) -284,512,090

貸借対照表科目	場所·物量等		使用目的等	金 額
車両運搬具	フォークリフト1台 自動車2台		公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	2,720,464
減価償却累計額		長浜市南浜町	争来に使用している。	-2,720,461
什器備品	管理棟內備品	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産で、公益目的事業 および管理業務に使用している。 使用割合により、97%を公益目的事 業、3%を管理業務としている。	103,274,478 (6,758,000)
	生産棟内備品	n	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	(3,087,360)
	揚水機(付帯設備含む)	II.	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	(63,145,000)
	ふ化水槽 10槽 ステンレス製水槽枠 1個	n	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	(1,769,640)
	コンプレッサー 2台	n	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	(756,000)
	ジェットウォッシャー 2台	草津市志那町字柿根1393-2 草津市北山田町	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	(780,920)
	圧力式循環濾過器 24台	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	(19,039,550)
	船外機 1台	草津市北山田町	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	(259,875)
	冷却機 5台	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	(1,459,500)
	自家発電機 4台	草津市志那町字柿根1393-2 草津市北山田町	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	(4,255,685)
	活魚移送ポンプ	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	(1,260,000)
	魚計量装置	n	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	(367,500)
	アルテミア孵化水槽	n	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	(335,448)
減価償却累計額船舶			公益目的保有財産であり、公益目的	-100,437,204
減価償却累計額	作業船4隻	草津市北山田町	事業に使用している。	7,700,000 -7,699,998
電話加入権	077-568-3451 他3台 安曇川人工河川 姉川人工河川	高島市安曇川町北船木 長浜市南浜町	公益目的保有財産であり、公益目的 事業に使用している。	257,227 (171,022)
	栽培漁業センター	草津市志那町字柿根1393-2	公益目的保有財産で、公益目的事業 および管理業務に使用している。 使用割合により、97%を公益目的事 業、3%を管理業務としている。	(86,205)
固定資産合計			〈その他固定資産計〉	118,254,291 1,203,283,90 5
資産合計				1,211,243,198
(流動負債) 未払金	沿整増殖場管理点検事業(委託費)	山田漁業協同組合他	公益目的事業および管理業務に係る 未払い分(22件)	4,293,097
			〈未払金計〉	4,293,097
預り金	社会保険料 他	役職員	社会保険料	651,000
流動負債合計			〈預り金計〉	651,000 4,944,097
退職給付引当金		職員	公益目的事業および管理業務に従事 する職員の退職引当金である。	19,253,735
			〈退職給付引当金計〉	19,253,735
固定負債合計				19,253,735 24,197,832
正味財産				1,187,045,366

役員名簿

(令和元年6月現在)

任期:令和2年の定時評議員会終結の時まで 任期:令和2年の定時評議員会終結の時まで

役 職 名	氏	名
理事長	西嶋	栄 治
常任理事	澤田	喜 之
理 事	礒 﨑	和仁
IJ	奥村	繁
IJ	齊藤	秀和
IJ	中 川	豊彦
IJ	中嶋	信夫
IJ	二 宮	浩司
IJ	林	英 志
監事	遠藤	満夫
IJ	Щ	実 実
IJ	四谷	廣一郎

役 職 名	氏 名
評 議 員	佐 野 高 典
IJ	西川 忠雄
IJ	藤井恒夫
11	堀 越 昌 子
11	松岡正富
11	望月幸三
11	山 中 治
IJ	横江次郎